

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
地域スポーツ活動推進事業		東区ふれあい事業実行委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	R3	R4	R5
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた区民の親睦と交流を図る。 ・区民の健康づくりのため、地域スポーツ活動を振興する。 ・多くの人がスポーツに親しむことのできる環境を整える。 	地域スポーツ活動が活発となることで、区民間の親睦や交流が深まり、自治会や自主防災組織の活動推進に寄与する。また、区民の健康を増進するとともに、若年層のスポーツ活動への誘導、中年層・老年層の生涯スポーツ活動の継続推進にも効果が期待される。	実施校区数	4校区	6校区	8校区
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	地域スポーツ活動の場を設けることで、「する」スポーツの促進を通じた、区民の健康づくりに寄与することが可能となる。また、スポーツを通して区民が交流することにより、親睦と連帯感が深まることも期待できる。	△	校区自ら企画・運営することで、地域ニーズや現状に即したスポーツイベントの実施が可能となっているが、区と協働の活動は少ないといえる。	○	地域性に沿った、スポーツイベントを実施しているため、それぞれの校区の特性を活かしたイベントが実施されている。
④効率性		◎	校区規模のスポーツイベントの企画・運営を、区民が自主的かつ積極的に実施しているため、効率性の高い事業であるといえる。		
⑤自立発展性		総合評価			
△	校区が主体となって実施することで、地域ニーズに合ったスポーツイベントの実施が可能となり、区民間の交流促進に寄与しているが、引き続き資金面の支援が必要であるといえる。	○	複数校区による合同スポーツ大会や、幅広い世代を対象としたスポーツイベントなどが本事業を活用して実施されていることから、活動を通じて、区民の健康づくりや区民間の交流が図れているといえる。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	毎年継続してスポーツ活動を実施している校区が多く、スポーツ活動への第一歩の場及び生涯スポーツ活動の場として一定の効果があるといえる。また、昨年度より実施校区数も増加しており、今後も本事業を活用し、校区のスポーツ活動を推進していく必要がある。				